



賑わいの街

世界で最もインタラクションが活発な街づくりに向けて、重要な要素となる“賑わい”は、どのようにして創出されているのか。今回は、大丸有エリアのアメニティ機能をご紹介します。※大丸有:大手町~丸の内~有楽町

JR有楽町駅を出て、有楽町ビルと電気ビルの間を抜けると、突然空気が変わることにも誰もが気付くだろう。“丸の内仲通り”は、綿密なエアーマネジメントのもとに独特のブランド感が醸成された、大丸有エリアのアメニティ・賑わい軸である。

かつては「平日、昼間の街」と呼ばれた丸の内。オフィスビルの1階は銀行が多く、午後3時にはシャッターが閉まり閑散としていた。2002年の丸ビルの建替とともにスタートした丸の内再構築事業では、高度業務集積エリアとしてのビジネス機能更新だけでなく、人々に賑わうアメニティ豊かな街の創出も大きな柱となった。丸の内仲通りを中心に、伝統ある大丸有にふさわしい国内外のハイブランドや高感度でこだわりあるショップ、個性豊かなカフェやレストランが多数進出し、街の様子は一変した。

“賑わい”の中味は、外からの集客だけではない。ここに集うビジネスパーソンが、毎日街の新しい魅力を発見できるように、さまざまな仕掛けが用意されている。新規開業や、話題の店舗の誘致による商業施設の充実にとどまらず、四季折々のイベントや、文化・芸術・音楽に親しむ機会を増やし、ランチタイムはもちろんオフタイムもこのエリアで満喫する人々が増えている。これらの付加価値に満ちた就業環境が、この街で働きたい、働き続けたいという誘引力の一つになっているとも言える。

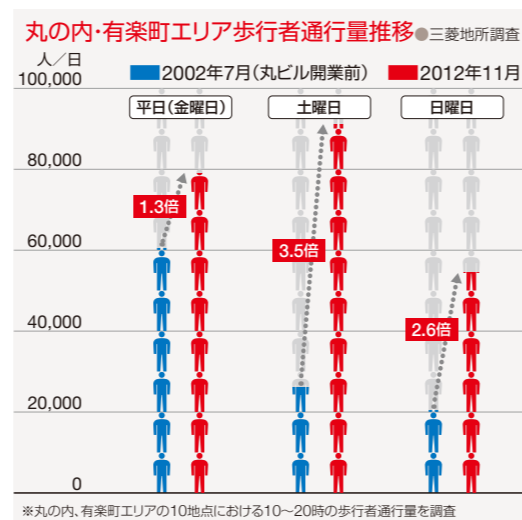
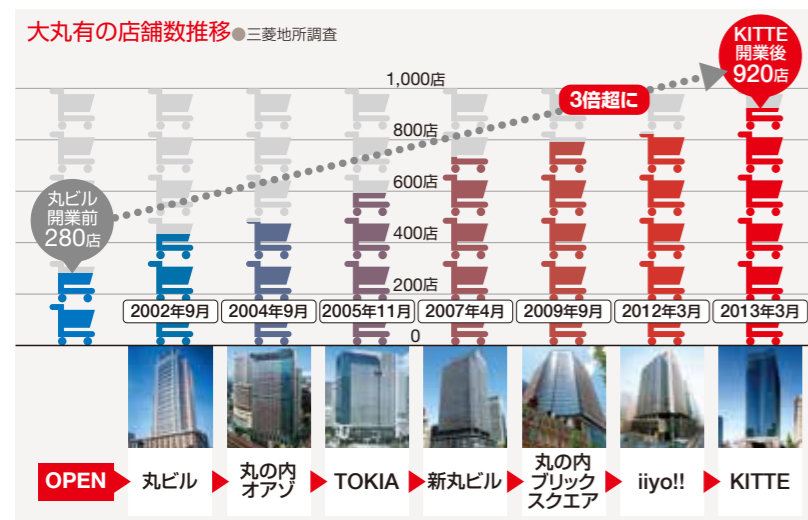
2013年には「KITTE」が開業、大丸有では今後も再構築による大型ビルの竣工に伴う商業施設のオープンが予定されており、新たな賑わい動線が生み出されることが予想される。

取材協力/資料・写真提供: 三菱地所株式会社

大丸有 賑わいの推移

Colorful town DAIMARUYU

店舗数が丸ビル開業前の約3倍超となったことに伴い、歩行者通行量も大幅に増加。



大丸有の今 ~ 個性豊かなアメニティ

日本を代表するビジネス街の玄関口とも言うべき東京駅。駅と皇居を結ぶ行幸通りを挟んで立つ大丸有のランドマーク、丸ビルと新丸ビル。行幸通りと垂直に交わる丸の内仲通り。この街は、ここにしかない賑わいにあふれている。



丸の内仲通り Marunouchi Nakadori
 ハイエンドなブランドショップやレストラン・カフェなど集客力の高い店舗が話題を呼び、ビジネス街をスタイリッシュな街に変えた、大丸有のアメニティ・賑わい軸。



東京駅 Tokyo Station

開業100周年を迎えた東京駅。歴史を感じさせる円形ドームや、駅舎のライトアップイベントなど見所も豊富。2017年には丸の内駅前広場が完成予定で、新たな人の流れが創出される。



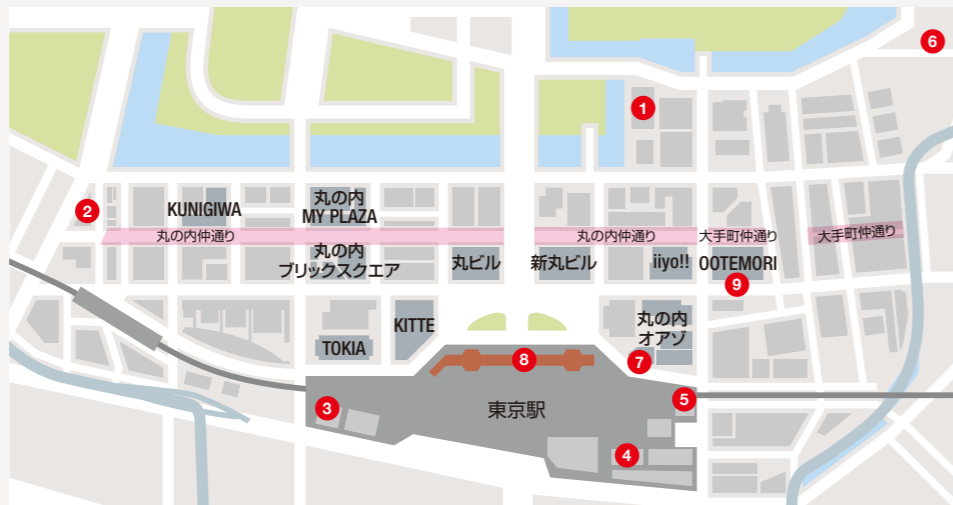
ショッピング Shopping

大人をターゲットとした丸ビル・新丸ビル、賑わいと安らぎを調和させた丸の内ブリックスクエア等々。再構築された大規模ビルには、それぞれのコンセプトに則ったショップが集う。

ラグジュアリーホテル Hotel

大丸有エリアには「丸の内ホテル」や「パレスホテル東京」等のホスピタリティを備えたホテルが複数立地し、グローバルなビジネスパーソンが交差する交流空間を提供している。

- 1 パレスホテル東京
- 2 ザ・ペニンシュラ東京
- 3 フォーシーズンズホテル丸の内 東京
- 4 シャングリラ ホテル 東京
- 5 ホテルメトロポリタン丸の内
- 6 KKRホテル東京
- 7 丸の内ホテル
- 8 東京ステーションホテル
- 9 アマン東京



夜も眠らない街 Night spots

ビジネス街、昼の街のイメージが強かった丸の内に、大人たちが上質な空間で深夜まで楽しめる店舗が続々と登場。



丸の内ハウス (marunouchi) HOUSE

個性あふれる9つの飲食店と開放的なテラスが魅力。ワンフロアのラウンジとして自由なスタイルでアフター5を満喫できる飲食店ゾーン。平日毎日、翌午前4時までオープンしており、活気にあふれている。

営業時間 ● 平日 11:00～翌4:00(日曜・祝日・連休最終日11:00～23:00)



東京ビル TOKIA Tokyo Building TOKIA

コンセプトは「大人達が、肩の力を抜き、遊び心を持って、良いものを純粋に楽しめる場所」。深夜まで営業する店舗も多数。

営業時間 ● 平日・土曜 11:00～23:00(日曜・祝日 11:00～22:00) 一部店舗は深夜まで営業

大丸有ワーカー限定イベント Events

大丸有エリアの就業者が参加できるイベントも開催され、交流を深める場となっている。



丸の内駅伝
MARUNOUCHI EKIDEN
丸の内仲通りで総勢100チームによる駅伝を実施。「楽しく走る」をテーマにしたイベント(原則就業者)。

東京丸の内盆踊り
MARUNOUCHI BON ODORI
マスコミでも紹介される「打ち水プロジェクト」に盆踊りや屋台が加わった夏のイベント(参加自由)。

文化・芸術に親しむ Culture

大丸有では文化・芸術あふれる街、若手アーティストを支援する街を目指し、年間を通じてさまざまなイベントが開催されている。



三菱一号館美術館 MITSUBISHI ICHIGOKAN MUSEUM
丸の内最初のオフィスビル「三菱一号館」を忠実に復元し美術館としてオープンした、丸の内の「文化芸術の中核施設」



ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャパン
毎年春に行われるクラシック音楽祭

行幸マルシェ
行幸地下通路で開かれる産地直送市場

大丸有の将来像 ～ 賑わいあふれる未来へ Colorful town DAIMARUYU

さまざまな再開発が予定されている大丸有エリア。大手町地区では、2015～2019年度の竣工を目指し、現在複数の大型再開発プロジェクトが進行中である。それぞれが完成した暁には、ビジネス機能の拡充とともに新たな賑わいが創出される。



大手町仲通り Otemachi Nakadori

「大手町連鎖型都市再生プロジェクト第3次事業」(2016年竣工予定)では、丸の内仲通りの機能を「大手町仲通り」として敷地内に延伸整備。有楽町から大手町、日本橋川までつながる広域的な賑わいと回遊性ある都市空間の形成を図る。

日本旅館「星のや 東京」 HOSHINOYA Tokyo

日本が誇る和のおもてなしを世界に発信するグローバルなビジネスセンターの機能として、「第3次事業」敷地内に2016年の開業を予定する日本旅館。敷地内で掘削した温泉を使用した大浴場も設置される計画となっている。

フィットネス施設 Health spa

「第3次事業」のオフィス棟内では、温泉を利用できるフィットネス施設もオープン予定。



大手町温泉 Hot spring

「第3次事業」敷地内において、深度約1,500mの掘削を実施した結果、2014年6月に湧出した温泉。「大手町温泉」と命名され、さまざまな活用が検討されている。

第3次事業A棟(オフィス棟)(完成予想パース)

大手町に新たな緑の広場 New open spaces

「(仮称)大手町1-1計画A棟」(2015年竣工予定)と「(仮称)大手町1-1計画B棟」(2017年竣工予定)では敷地西側に緑豊かなコミュニティ広場を、また「(仮称)大手町一丁目2地区計画」(2019年度竣工予定)では大手町最大となる緑地(広場含む)を整備する予定。皇居の緑と連続して大規模な緑地空間を形成し、エリアの就業者や来街者に快適な憩いの空間を提供する。

